第43回

淡路精神保健福祉大会

<mark>気づいて</mark>、つながって、支えあう

<mark>淡路圏域では、地域住民のここ</mark>ろの健康の保持及び増進を図るための取組を積極的に進めています。 <mark>精神障がいは現代社会において</mark>身近なものです。どなたも参加可能です。一緒に考えてみませんか?

令和7年11月20日(木)13:30~16:00 日時:

(12:50受付開始)

<mark>南あわじ市市</mark>地区公民館(南あわじ市市三條880) 場所:

第一部 13:30~ 式典。淡路精神保健福祉功労賞贈呈式

第二部 14:00~ 上映 ドキュメンタリー映画「どうすればよかったか? |字幕付・約100分

<mark>ミニシ</mark>ンポジウム 「どうすればよかったか~それぞれに思うこと~」



家族という他者との20年にわたる対話の記録

一面開発がなく、絵がうまくて優秀なら歳もがいの姉。両親の影響から医師を志し、医学部に進学した彼女がある日突然、事実とは思えないことを呼び出した。統合失興症が襲われたが、医師で研究者でもある父と母はそれを認めず、精神科の姿勢から姉を遠ざけた。 その判断に疑問を感じた弟の藤野知明(監督)は、両親に説得を試みるも解決には至らず、わだかまりを抱えながら実家を離れた。

このままでは何も残らない――姉が発症したと思われる日から18年後、映像 制作を学んだ藤野は帰省ごとに家族の姿を記録しはじめる。一家そろっての 外出や食卓の風景にカメラを向けながら両親の話に耳を傾け、姉に声をかけ づけるが、状況はますます悪化。両親は玄関に鎖と南京錠をかけて姉を閉

20年にわたってカメラを通して家族との対話を重ね、社会から隔たれた家の 中と姉の姿を記録した本作。"どうすればよかったか?" 正解のない問いは スクリーンを越え、私たちの奥底に容赦なく響きつづける。

分かりあえなさとともに生きる、 すべての人へ向けた







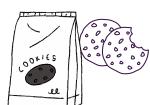


同時開催!

(C) 2024動画工房ぞうしま

事業所の活動紹介パネル展示





福祉事業所バザー(12:00~13:00頃)

言いたくない 家族のこと 面倒見がよく優秀な姉に統合失調症の症状が現れた 父と母は玄関に南京錠をかけ、彼女を閉じ込めた

(HERICEPT-ANDER) (M-APPRILADOS-JAZONA) (MINERICAAADOS-MARIE) (MANDEPT-ANDER) (VANDEPT-ANDER)

【お申込について】

裏面WEB申込フォームにお名前、電話番号、メー ルアドレス、団体の場合は所属等を入力してお申 込み、または事務局へお電話でお申込み下さい。 申込締め切り:令和7年11月11日(火) ※参加人数の概ねの把握のため事前申込を受付け ますが、当日参加も大歓迎です。駐車場が満車の 場合、市役所駐車場からシャトル便を出します。

主催:淡路精神保健福祉協議会 共催:兵庫県精神保健福祉協会 お問合わせ:淡路精神保健福祉協議会事務局(南あわじ市福祉課)

第43回 淡路精神保健福祉大会 参加申込について

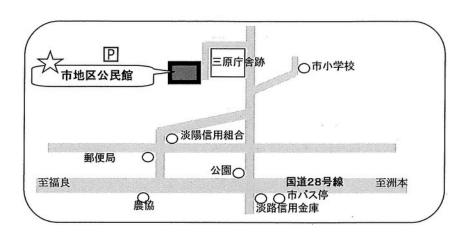
申込フォーム: https://forms.gle/R8pr9FrJyJ8TG9qt9



電話:淡路精神保健福祉協議会事務局 TEL0799-43-5216

(南あわじ市福祉課内:土日祝を除く8:30~17:15)

【会場案内図】



【お願い】 旧三原庁舎駐車場が工事中のため、駐車台数に限りがあります。出来るだけ乗合せにてご来場をお願いいたします。満車になった場合、市役所駐車場からシャトルバスでの送迎を予定しております。時間に余裕をもってのご来場をよろしくお願いいたします。